

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

新年あけましておめでとうございます。  
今年もらくだ図書館をよろしくお願い致します。

というわけで。  
とうとう 2016 年になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

自分は久し振りに実家へ帰ったり、なんだかんだバタバタしており、あまりゆっくりできていません（汗）  
まあしかし、家族の顔を見るのはいいものですね。

子供の頃は正直言って鬱陶しいと思ってましたが、大人になってから、親兄弟の大切さを感じるようになりました。

さてさて。

そんな雑談はさておき、まずは新年一発目として、パブー版の紹介です。  
ツイートでは宣伝しましたが、ブログではまだだったので、リンクを貼っておきます。

【らくだ図書館（48）】

<http://p.booklog.jp/book/103793>

先日予告した通り、今回が48冊目、つまり4年達成です。  
今日から5年目に突入ですが、我ながら暇人だなーと思います。

まあでもブログを書くの楽しいし、読んでくださる方もたくさんいるし、今後も力の続く限り更新していきたいなと。

デビューへの道のりはまだ遠い感じですが、焦らず騒がず、今年も自分らしく頑張っていきたいです。

こんにちは、らくだです。

新年の挨拶等をくださった皆様、どうもありがとうございました。  
何度も繰り返しのになりますが、今年もよろしくお願いします。

さて、新年早々さっそく投稿の話題を。

ルルル文庫が原稿の持ち込みを開始したようです。  
マンガでは割と一般的ですけど、小説で持ち込みは珍しいですね。

【詳細ページ】

[http://lululubunko.jp/lightnovel/novel\\_fantasy.html](http://lululubunko.jp/lightnovel/novel_fantasy.html)

- ・ 募集内容      恋と冒険のファンタジー小説
- ・ 規定枚数      38 字× 32 行で 100～105 枚程度
- ・ 応募方法      郵送のみ
- ・ 締切り        毎月末
- ・ 結果通知      採用者のみメールで連絡

というわけで、募集内容は従来のルルル大賞とほぼ一緒みたいです。

ただしこちらは賞ではないので、評価シートや賞金はありません。  
その代わり毎月締切りがあるので、採用されたら、レーベルの即戦力になれそうです。

自分の場合はやっぱり選評が欲しいので、持ち込みはしないかなーという感じですが、ご興味のある皆様はいかがでしょうか？

以上、ルルルの持ち込みの話でした。  
今年も様々な投稿情報をお届けできるように頑張ります。

こんにちは、らくだです。

第30回アルク翻訳大賞の結果が掲載される、『アルク翻訳事典2017年度版』ですが、Amazonに商品ページができたようです。

この雑誌は毎年そうですが、アルクの公式通販サイトより、Amazonの方が情報が早いんですよね（汗）

まあとにかく、今年の発売日は1月28日みたいです。

【Amazon 商品ページ】

<http://www.amazon.co.jp/dp/4757426887>

自分は今回応募できなかったんですが、講評を読むだけでも勉強になるので、発売されたら確認しようと思います。

ちなみに前は字幕部門に参加しましたが、小説とは文章作法が違うので、詳しく調べはじめると面白いなと。

だいぶ前にも書いたんですが、一番驚いたのは、三点リーダーの扱いです。

小説では「……（2つ）」が一般的ですが、字幕では「…（1つ）」が普通なんだそうです。

自分はそれまで「…」を見るたび、「コイツ文章書けねえヤツだな」と思ってたんですが、そういう思考を反省しました。

自分の世界では常識なことも、違う業界では逆に非常識だったりするので、思い込みって危険ですよ。

という教訓を残しつつ、今回の記事は以上です。



こんにちは、らくだです。

今回は宣伝記事なので、興味のない方は、スルーをお願いします。

定期的に紹介しておりますが、当ブログ「らくだ図書館」を、半年毎に製本しております。

このたび 2015 年の下半期分をまとめた、8冊目となる最新版が完成したので、購入先のリンクを紹介しておきます。

\*\*\*\*\*



【らくだ図書館】

掲載記事 : 2015 年 7 月 1 日～2015 年 12 月 31 日

ページ数 : 253 ページ

[ご購入はこちら](#)

\*\*\*\*\*

ちなみに過去に発注した分は、初対面の投稿仲間さんに、サイン入りで贈呈しました。  
当時は親切のつもりでしたが、下手するとこれ、ある種の迷惑行為ですよ。

い、いや！

これからビッグになって、プレミア本にしてやんよ！

(微レ存より遥かに低い可能性)

とにかくそういうわけで、今回は書籍版の案内でした。

内容は完全にネットと一緒にですが、よろしければ、お手に取ってみてください。



こんにちは、らくだです。

1月5日の読売新聞の編集手帳に、ラクダに関する話題が載っていたそうで、投稿仲間さんが教えてくれました。

500字くらいのコラムですが、簡単にまとめるとこんな感じ。

- ・ラクダは砂漠に住めるのに、キリンはなぜ住めないのか
- ・キリンは背が高いから、「ここには砂しかない」と、先にわかってしまう
- ・ラクダは背が低いから、「きつとこの先にオアシスがある」と、期待しながら進める
- ・人間もラクダと一緒に、先のことはわからない
- ・でもだからこそ、希望を持って進もうじゃないか

という真面目な教訓なんですけど、この話を小説投稿にあてはめて考えると、確かにそうかなと思います。

キリンみたいに遠い先が見通せて、デビューできない未来がわかつちゃったら、そもそも頑張らないですよ。

逆に今の自分が頑張れるのは、「次の作品でデビューできるかもしれない」という、小さな希望が存在するからで。

まあその不確実な「希望」という存在が、どれだけ落ちてもやめられない「呪縛」でもあるので、その部分は複雑なんですけどね（汗）

とにかく自分が今まで投稿を続けられて、落選とはいえこれだけ多くの作品を生み出したのは、未来が見えないおかげなんだなと。

そんなわけで、ゴールが見えない状況はつらいですが、それを楽しむくらいの気構えを持ちたいなと、この新聞記事を読んで思った次第です。

カクヨムブログが、全然更新されない！  
せっかくオープンしたのに、去年で止まってるじゃんか！

と思い込んでいたのですが、サイトのオープンと同時にページが移転したらしく、それに今気付きました  
(汗)

なんてこった……。  
ずっと旧ブログをチェックしてたわ……。

【カクヨム準備会ブログ (旧)】  
<http://kadokawa-toko.hatenablog.com/>

【カクヨムブログ (新)】  
<https://kakuyomu.jp/info/>

自分以外にも仲間がいるかもしれないので、両方のサイトアドレスを載せておきます。  
準備会はもう更新されないようなので、ブックマーク登録の変更が必要ですね。

そして、そして。  
新ブログの情報によると、カクヨムに投稿された小説は、すでに 3,600 本 (!) だとか。

もちろん賞に参加しない作品もあると思いますが、上の数字は開始 1 週間時点なので、今後さらに増えることは間違いないと言えそうです。

これはひょっとして、なろうコンレベル？  
というか、今後の状況によっては、10,000 本越えちゃうんじゃない？

というわけで、前代未聞の数字が出そうなので、自分も当事者として参加をしつつ、発表祭りを存分に楽しみたいと思います。



こんにちは、らくだです。

今年は寒くないと思っていたら、まんまと流行りの風邪をひいてしまったようで、咳と鼻水が止まりません。

暖冬とはいえ油断しちゃダメですね。

冬本番はまだこれからですし、きちんと防寒につとめます。

さて、本日の本題を。

前回カクヨムの小説が 3,600 作品という話をしましたが、ネット小説大賞（なろうコン）も負けておらず、応募総数がすでに 6,000 作品を突破した模様です。

ソースは下記お知らせですが、ものすごい勢いですよね。

【ネット小説大賞】

<http://www.cg-con.com/novel/info/012.html>

ちなみに前回の応募数は「6,284 作品」でした。

今回の締切りは来月 2 月 1 日なので、これからさらに増えるでしょうし、前回越えは確実と言えそうです。

おいおい……。

ネット小説の勢い怖すぎんよ……。

というわけで若干ビビリ気味ですが、書き手が増えて創作界が盛り上がるのは、投稿者として嬉しいことですよね。

最終的な応募数は一体どうなるのか、賞の行方を見守りたいと思います。

ツイッターのフォロワーリストを久し振りにチェックすると、投稿アカが提督アカになっているケースがあまりにも多くて、むしろそれが正当な進化のように思えてきた今日この頃。

俺達ワナビは！

いつか提督になる運命なんだ！

というステマ（？）はさておき、今回の話題は、H J の 1 次発表についてです。

まずはいつも通り、リンクの紹介を。

1 次通過された皆様は、おめでとうございます。

ちなみに応募総数は見当たりませんが、H J ブログの方に記載があったので、そちらのデータを持ちてきました。

【発表ページ】

<http://hobbyjapan.co.jp/hjbunko/novelawards/>

応募総数      325 作品

1 次通過      73 作品

通過率      約 22 %

自分が送っていない場合でも、通過リストを見るのは、やっぱりドキドキしますね。

2 次発表は 2 月中旬らしいので、更新を楽しみに待ちたいです。

それにしても応募数のデータを見ると、ネット小説以外の賞は、徐々に減少する傾向にありますよね。

非ネット勢の自分にとっては寂しくもありますが、今後もこの状況が続くなら対応する必要がありますし、投稿業界の動向を今後も見守っていきたいです。

こんにちは、らくだです。

風邪はだいぶ治りましたが、まだ鼻水が止まりません。  
健康が大切なのは当たり前ですが、不調時は特にそれを実感しますね。

さて、本題。

当ブログも参加していた、アルファポリス主催のエッセイ・ブログ大賞ですが、結果が発表されました。

【発表ページ】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/kekka/>

【最終候補作】

「訪問ヘルパーはかく語りき」、「石紀行」、「KUMOYA.com」、「海を渡る自転車」

【大賞&読者賞ダブル受賞】

「訪問ヘルパーはかく語りき」

という結果でしたが、訪問ヘルパーは初日から最終日まで完全に首位独走だったので、納得の受賞ですね。

ちなみにらくだ図書館は、最終日に少し順位を落として、13位という結果でした。

受賞に至らなかったのは残念ですが、上位を目指して一喜一憂するのも楽しいですし、またチャレンジしたいなと思います。

投票してくださった皆様、ありがとうございました。

かなり気が早い話ですが、来年もまた、よろしくお願いします。

こんにちは、らくだです。

記事にするのがすっかり遅くなりましたが、ノベルに投稿された皆様はお疲れ様でした。

ツイッターを見る限り、今回は参加されたフォロワーさんがかなり多いようなので、結果が楽しみです。

みんな！

一緒に通過リストに載ろうね、絶対だよ！

(自分だけ名前がないフラグ)

ちなみにノベル大賞は、雑誌が最速という発表スタイルなので、発売日に本屋へ駆け込む楽しみがありますよね。

ウェブ発表の方が圧倒的に便利ではありますが、雑誌発表の奥ゆかしい興奮(?)も捨てがたいので、できれば今後もこのスタイルを続けて欲しいです。

あと、それから。

締切りと同時に応募要項が更新され、早くも次回の受付が始まりました。

はえーよホセ！

【応募要項】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award>

さっそくチェックしてきましたが、締切日が1年後になっただけで、内容は変わっていない模様です。

応募要項の発表が早いと、投稿計画が立てやすいので、ありがたいですね。

来年の状況はまだ不明ですが、ノベルは好きですし、できれば応募したいと思います。

こんにちは、らくだです。

電撃大賞の特設サイトが更新されて、イラストや試し読みが追加されました。

【特設サイト】

<http://dengekitaisho.jp/special/22/index.html>

現在アップされているのは、

- ・『ただ、それだけでよかったんです』
- ・『トーキョー下町ゴールドクラッシュ！』
- ・『ヴァルハラのお晩ご飯』
- ・『俺を好きなのはお前だけかよ』

という大賞と金賞の4作品ですが、他の受賞作も、近日中に掲載される模様です。

自分は取り急ぎ、『俺を好きなのはお前だけかよ』の試し読みをチェックしましたが、誤変換ネタ最高。

いや、誤変換ネタと呼んでいいのかわかりませんが、某キャラクターの悪意ある言い間違い（故意）がツボでした。

どうしてくれるんだ！

「何を死に來たの」でお茶ふいたじゃないか！

あとはイラストもキュートですよ。

自分もいつか受賞&デビューして、こんな素敵なイラスト入りで作品を出版したいなーなんて、とらたぬ妄想が浮かんできます。

何はともあれ、発売までもうすぐなので、どの作品も楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

初詣には少し遅いですが、石清水八幡宮へ行ってきたので、その模様を紹介します。

本殿は山の上にあるので、ケーブルカーで登ります。

京阪の八幡市駅から出ると、目の前に乗場がありました。



寒いですが空は青く、絶好のお散歩日和！

改札を抜けると、すぐに乗場でした。

ケーブルカーだから当然なんですが、斜めの車体に、何故かテンションが上がります。



ちなみに徒然草にも登場する石清水八幡宮は、昨年末に国宝へ登録されることが決定しました。

その為あちこちで「祝・国宝」の文字が見られます。

こういうお祝いムード、なんだか素敵ですね。



下は出発前に運転席から撮った写真。

線路は続くよどこまでも……と思いきや、車内アナウンスによると、実際の走行時間は約3分だとか（汗）

今回はケーブルカー利用でしたが、歩いて参拝する方も多いそうです。



下の写真は、車内の様子。

冒頭でも一度言いましたが、「車体が傾斜している」という点になんとか不思議な特別感があって、テンションが上がります。





なんだかんだ騒いでいるうちに、ケーブルカーが動き出しました。

おお……！

いざ出発すると、太陽が眩しい……！



走行中、眼前には河川敷の光景が広がります。

今は冬なのでちょっと寂しいですが、茶色く見えている樹はすべて桜なので、春は素晴らしい眺めでしょうね。



ちなみに自分、石清水八幡宮へ来たのは初めてですが、写真奥の河川敷でお花見したことがあったりします。

その時の様子は[コチラ！](#)

(自ブログのステマ)



そうこうしている間に、山上駅へ到着しました。  
ここは本殿の裏側なので、歩いて正面へ向かいます。

記事が長くなりそうなので、今回はとりあえずここまで。  
次回は石清水八幡宮（後）をお届けいたします。

こんにちは、らくだです。

今回は石清水八幡宮（後）をお届けします。

ケーブルカーを降りた後、本殿へ向かって歩きました。

道端に地図がありましたが、非常に広大な敷地ですね。



軽いハイキング気分で10分ほど山道を進むと、突如として、山の上とは思えない石畳が出現しました。

どうやら参道へ到着した模様。

ずらりと並んだ石灯籠が壮観です。



手水鉢で手を清め、いざ行かん本殿へ。

うおおおお！

破魔矢がすごい大きさ！



国宝に指定されたのはこちらの御本社です。

朱塗りが眩しくて綺麗ですが、建立は江戸前期、具体的には寛永１１年だとか。

それにしても圧巻です。

特に斜め下の角度から見ると、破魔矢の迫力が倍増します。



お参りを済ませた後、境内を散策しました。

下の写真の樹もたぶん桜なので、春の景観はさぞや見事でしょうね。

それにしても神社で巫女さんを見ると厳かな気分になります。



立派な瓦だなーと思いながら、ふと顔を上げると、魔除けの像がありました。

あなたは龍ですか？

それとも象さん？



最初は龍と思ったけど、よく見ると、鼻の先の形状が象さん。

一方下の写真は、境内横の石灯籠。

円の上にハトという、すごいバランスです。





お参りと境内の散策を済ませて、ケーブルカーの駅へ向かって歩いていると、味のある鳥居を見つけました。

苔むして古そうですが、その先は何もないガケ。  
かつてはここが八幡宮への参道だったのでしょうか。



以上、石清水八幡宮への初詣でした。

この後もう一社めぐったので、次はその様子をお届けします。  
お楽しみに！

初詣シリーズの続きです。

石清水八幡宮を参拝した後、伏見稲荷大社へ行きました。

今はすでに1月中旬ということもあり、参拝客の数は多いものの、押し合うほどではありませんでした。



ちなみに [2年前の初詣](#)の際は、比喻ではなく、本当に身動きができなかった……。

今回はそんなことはなく、無事にお参りできました。

本当は元旦に行くのが理想ですが、これだけ人出が違うと、少しずらしたくなりますね。



本殿の奥には千本鳥居があり、ここを通り抜けながら、稲荷山の山頂へ登れます。

体力がちょっと心配ですが、せっかくなので行くことに。

ゆっくり1周まわってくると、約2時間くらいだそうです。





参拝道の途中には、大小様々なお社が。  
上の写真は途中で見つけた、少し変わった手水鉢です。

おお！  
頑張って登っていると、いきなり巨大な沼が！



見てください。  
鬱蒼と茂った周囲の木々を。

ハイキングと言うより、これはもう登山ですね。



登山中に振り返って撮った写真。  
ちょっと暗いですが、石畳の階段は、かなりの傾斜です。

うう……。  
くじけそうだよ……。

そんな時に救世主（？）登場！



中腹にあったお食事処で、その名も紅白ソフトという、アイスクリームを補給。

ミニおみくじがオマケで結果は吉でした。  
期間限定ですが、また食べに来たいくらい、おいしかったです。



ヒーヒー言いながら、ようやく山頂へ到着。  
日も沈みかける時間ですが、それでも参拝客は多く、行列ができていました。

お参りを済ませた後は、来た道と違う道を下山。  
途中で見晴らしのいい場所があって、京都市南部の風景を一望できました。



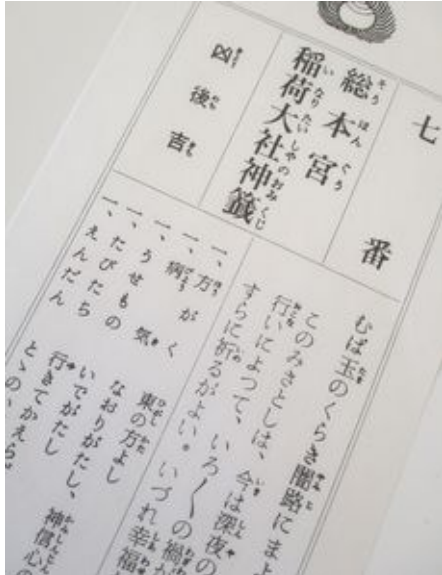
ああ……！  
大変だったけど登ってよかった……！

遠く沈みゆく夕日を眺めつつ、今年もいい年にしたいと、改めて誓った一日でした。  
次回は初詣シリーズ（オマケ）をお届けいたします。

こんにちは、らくだです。

今回は初詣シリーズのオチをお届けします。

今年のおみくじの結果は、ずばり「凶のち吉」でした。



やだー！

凶とか初めて引いたんですけどー！

え、でも待って？

のち吉っていうことは、今年の後半には、いい事あるんだよね？

と思ってよく読んだら、フルボッコでワロタ。

- ・ 方角 東のかたよし
- ・ 病氣 なおりがたし、神信心のほかなし
- ・ 失せ物 いでがたし
- ・ 旅立 行きてかえらず、つつしむべし
- ・ 縁談 ととのいがたし
- ・ 待ち人 来たれど又わかると知るべし
- ・ 勝負事 まけと知るべし

これさ？

「のち吉」はフォローで、実質的に「凶」じゃね？

というわけでこのおみくじは、記念に持ち帰って参りました。

おみくじは神社へ納めた方が良いという説もありますが、自分は忘れっぽいタイプなので、この一年間これを見ながら我が身を戒めようと思います。

以上、初詣シリーズでした。

4回にわたって長々とお届けしましたが、次回からはまた通常更新に戻ります。

こんにちは、らくだです。

集ラノの発表、まだかなあー。

まあ去年は2月中旬だったし、今年もそうなんだろうなあー。

と思ってたら更新されてる！

すっかり油断してたのに、不意打ちだってばよ！

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx4thAward/result.html>

応募総数      780 作品

1次通過      181 作品

通過率      約 23 %

通過された皆様はおめでとうございます！

ちなみに自分は新年早々、見事に1次落ちしました！

へへ……。

さすが今年の運勢は凶だぜ……。

というかまあ、運勢とか特に関係なく、つまらないから落ちたんですよね（汗）

書いて投稿した時期は、今年ではなく、もうかなり前ですし。

そういうわけで、落選してしまったことは残念ですが、どれだけ嘆いても結果は変えられないですし、しっかりと事実を受け止めた上で前を向きたいです。

凶だからこそ気持ちは明るく。

今年はそれを心掛けようと思います。

数日前に電撃受賞作の試し読みの感想を書いたら、なんと作者の駱駝様から、直々にお礼のメールを頂戴しましたよやったね！

いやー。

こういう時本当に思うんですが、ブログやってて良かったです。

炎上やら個人情報流出やら、SNS の悪い部分が注目されがちな最近ですが、やっぱりいい部分も大きいと改めて再確認しました。

さてさて。

今回はガガガの 2 次発表についてです。

まずは恒例のリンクから。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

[http://gagagabunko.jp/grandprix/entry10\\_2ndResult.html](http://gagagabunko.jp/grandprix/entry10_2ndResult.html)

応募総数	1,128 作品
1 次通過	110 作品（約 10 %）
2 次通過	10 作品（約 0.9 %）

ガガガはどれだけ送っても 1 次通過できなかったもので、今は諦めて発表だけを見守っていますが、毎年の応募総数が安定している新人賞という印象です。

公募の応募数が現象傾向な今でも、1,000 作品を越えてますもんね。

すでに次回の要項も出てますが、この安定感は、今後も変わらない気がします。

ちなみに最終結果は、3 月中に発表だとか。

どの作品が受賞の栄冠に輝くのか、更新を楽しみに待ちたいです。



こんにちは、らくだです。

今年は暖冬だと思っていましたが、ここへ来て一気に寒くなりました。  
風邪はすでに治りましたが、別の風邪を引かないよう、十分に気を付けたいです。

さてさて。

ここ数日発表の話題が続いてますが、富士見の最終結果が公開されました。

下にリンクを貼っておきます。

入選された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

[http://www.fantasiataisho.com/contest/29th\\_first.php](http://www.fantasiataisho.com/contest/29th_first.php)

ここから後期入選作とあわせて、大賞や金賞などが選ばれます。

前期で選出された2つの作品が、最終的にいったいどの賞に輝くのか、それを待つのも楽しみです。

あとどうでもいいですが、今「入選」と書こうとしたら、乳腺に変換されました。

優先順位おかしいわ！

いいぞパソコンもっとやれ！

それから1次通過の選評は、1月25日に公開だそうです。

こうして日付が決まっていると、ヤキモキしなくて済みますね。

まあ確定は確定で別の怖さもある気がしますが、とにかく以上、富士見ファンタジア大賞の入選作の話題でした。

こんにちは、らくだです。

今回は（今回も？）火鍋の話題です。

初詣シリーズの時に書き忘れてしまいましたが、京都の神社を巡った後、小肥羊（シャオフェイヤン）京都店へ行きました。

先日あびこ店が出来たばかりですが、京都も新店で、オープンは去年の１１月だとか。  
関西は空前の小肥羊ラッシュで、ファンとしては嬉しい悲鳴です。

【小肥羊・京都店】

<http://www.hinabe.net/location/kyotokawaramachi.html>

詳しくは上のサイトに書いてありますが、場所はホテルピスタプレミオのＢ１Ｆで、河原町の繁華街の一角にありました。

いざ店内に入ってみると、ほの暗い客席を間接照明が照らし、高級感が漂う雰囲気。  
さすがホテル内だけあって、京都店は、ゴージャスさも格別でした。

ここは是非とも画像でお伝えしたいのですが……。

なにぶん登山で疲れ切っていたので、写真を撮り忘れてしましまして……。



というわけでコレが唯一の写真です。

心なしか他の店舗より鍋が大きいような気がします。

それにしても冬はやっぱり火鍋ですよ。

一年中食べてますけど、冬はおいしい＆あったまれるで、一石二鳥な感じです。

そんなわけで以上、火鍋を食べたよ報告でした。

また京都店へ行く機会があれば、今度はしっかりと紹介できるように、色々写真を撮ってきたいです。



## 第4回恋愛ファンタジー大賞- 2016.01.20 Wed

---

こんにちは、らくだです。

1月19日（火）が第3回の締切りだった、「アイリス恋愛ファンタジー大賞」ですが、早くも第4回の受付が始まりました。

今回の締切りは、5月19日（木）。

途切れなく募集を続けるあたり、賞の盛況ぶりがうかがえますね。

あ、リンクはこちらです。

【公式サイト】

[http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif\\_award/](http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/)

基本の要項は今まで通りですが、今回からタグが変更されました。

従来は「アイリス恋愛F大賞」でしたが、今回は「第4回アイリス恋愛F大賞」で、「第〇回」の部分が追加になったので、エントリーする際には注意が必要です。

これはおそらく、つけっぱなし対策でしょうか。

今まで第1回から第3回まで、ずっと同じタグでしたからね。

あと珍しいな—と思ったのは、前回の応募作で再参加可能と、Q & Aに書いてある点。

確かになろうに掲載されている作品だと、いつの間にか続きが掲載されていたり、それによってランキングが変わっていたり、時と共に状況が移り変わりますもんね。

従来の公募だと「同作品の再投稿はご遠慮ください」な場合が多いですが、再参加オーケーと明記してある部分が、ネット小説のコンテストの面白い&興味深いところだな—と思いました。

【今週のブログテーマ】今回のテーマ：【「好きな映画＆心に残る映像は何ですか？」】

というわけで、今回はシーサーブログが提供する今週のテーマ、「好きな映画」について語ってみようと思います。

まあね！

好きな映画とか質問されたら、この作品に決まってるよね！



我、カンフーパンダ熱烈推薦！（中国語風）

ストーリーを簡単に説明すると、主人公のパンダが最強のカンフー戦士になるまでを描いた作品で、ぶっちゃけ王道そのものですが。

ただこの作品は見せ方が上手いと言うか、「あ、ここ格好いいシーンだ！」と思わせながら、そこに脱力ギャグをぶち込んでくるので、そのセンスが素敵すぎてフォーリンラブ。

（こういう見せ方は、勉強にもなります）

もちろんギャグだけでなく、泣きどころもありますしね。

特に中盤の某キャラが天に召されるシーンは、夜空に花びらが舞い散って本当に吸い込まれるほど綺麗なので、是非一度4Kテレビで観てみたいと思いました。

そんなこんなの、笑って泣ける名映画、カンフーパンダ。

良くも悪くもギャグが濃いので、人によって好みはわかるかもしれませんが、とりあえず自分はこの作品が大好きなので、まだ未視聴の方にオススメします。

以上、今週のブログテーマ、「好きな映画」についてでした。

ジュンク堂でトイレに行ったら、個室に入った瞬間スーッと便座のフタが開いて、思わず叫んでしまった件。

うわああああ！  
心霊現象かと思ったじゃん！

っていうか、最近はこんな部分まで自動なんですね（汗）

このままトイレの技術革新が進んだら、自動的にズボンを脱がせてくれる機械も、近いうちに登場するんじゃないでしょうか。

さてさて。  
前置きが妙な話題になりましたが、今回は、ルルルの2次発表についてです。

まずはリンクと通過数の情報を。  
選考に残られた皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】  
[http://lululubunko.jp/lightnovel/nyusen\\_index.html](http://lululubunko.jp/lightnovel/nyusen_index.html)

応募総数	1 4 2 本
1 次通過	3 3 本（約 2 3 %）
2 次通過	1 1 本（約 8 %）

ルルルは2次の後が最終だと思いますが、全体の8%が通過するという、例年よりやや多めの数字になりました。

この中から一体どの作品が受賞するのか、気になる最終結果は3月26日発表らしいので、更新日を楽しみに待ちたいと思います。



こんにちは、らくだです。

郵便局の回し者だと言われそうですが、皆様は、クリックポストをご存知でしょうか。

レターパックに比べると知名度はやや低いですが、同程度のサービス内容で、おまけに料金は圧倒的に安いという優れものです。

【クリックポスト】

<https://www.post.japanpost.jp/service/clickpost/>

- ・ 全国一律 164 円
  - ・ 追跡サービスあり
  - ・ 差出時はポスト投函可能
  - ・ 普通郵便と違って日曜祝日も配達
  - ・ 長辺 34cm 以下、短辺 25cm 以下、厚さ 3cm 以下
- (A4サイズの原稿も大丈夫！)

ちなみに具体的な利用方法は、ヤフーIDで専用サイトへログインし、ヤフウォレットで料金を決済し、専用ラベルをパソコンで印刷して、封筒に貼って出すという流れ。

慣れてしまったら簡単なんですけど、レタパに比べると手順が複雑なので、それが知名度の低い理由でしょうか。

とはいえ1回あたり200円近く節約できるので、郵送でバンバン投稿する場合は、レタパから乗り換えるのもアリだと思います。

まあ最近はウェブ応募が主流で、郵送の賞自体減ってますけどね。

そしてクリックポストを宣伝した自分自身も、普段は面倒なのでレタパを使いがち（汗）ですが、こんな発送方法もあるよーという紹介でした。

こんにちは、らくだです。

電撃大賞の特設サイトが更新されて、今度はなんとPVが公開されました。

今回アップされたのは受賞作全体のPVと、「ただ、それだけでよかったんです」のPV。  
今はひとまずその2本だけですが、第1弾なので、今後も更新が期待できそうです。

一覧ページはコチラ↓↓↓

【PV一覧】

<http://dengekitaisho.jp/special/movie/index.html>

早速チェックしたので、以下個人的な感想を。

まず受賞作全体の宣伝動画は、まだイラストが発表されていない2作品の絵が、チラッとですが確認できます。

あとは既出の情報をまとめた感じなので、特設サイトをチェックできていない人にとっては、概要を把握できていいかもしれません。

一方「ただ、それだけでよかったんです」は、すごく格好いいので絶対に見るべき！

あくまで小説作品のPVなのに、まるで映画の予告映像を見ているようで、本当に鳥肌が立ちそうでした。

ただし「4,580 作品の頂点に輝いた作品」というナレーションに、「ワイの落選作も含まれた数字やな……」  
と思い出して、興奮していたテンションが急降下しましたけどね！

そんな悲しいオチ（涙）はさておき、PV自体はとても素敵だったので、第2弾以降にも期待したいです。

こんにちは、らくだです。

突然ですが今回は児童文学（？）の新人賞、小学館ジュニア文庫小説賞の紹介です。

【公式サイト】

<http://juniorbunko.jp/oubo/>

- ・ 募集内容      恋愛、ファンタジー、ミステリー、ホラーなど  
(小学生の子供達がハラハラ、ドキドキ、ワクワクできるようなエンタテインメント作品)
- ・ 応募期間      2015 年 12 月 14 日～2016 年 2 月 15 日
- ・ 原稿枚数      40 字× 28 行で 50～85 枚

選考委員はちゃお編集部やコロコロコミック編集部で、募集内容にも書いてある通り、小学生をメインターゲットにしたジュニア小説の賞です。

ただ既刊作のイラストを見る限り、ラノベとそんなに差はない気も。  
子供向けと表現するよりは、むしろ一周まわって、MWっぽいように感じます。

このレーベルだけの現象ではないですが、最近は「児童向け」「少年向け」「大人向け」等々のジャンル間の壁が、どんどん薄くなっている印象ですよね。

自分もラノベのつもりで書き上げた作品を、「これ児童文学じゃね？」と言われた経験がありますし、今いるジャンルでなかなか芽が出ない方は、他のジャンルへ移動してみるのも一つの手かと思います。

まあね！  
ジャンルをどれだけ移動しても、まったく芽が出ない、自分のような人間もいますが！  
(これはたぶんジャンルではなく実力の問題)

というオチがついたところで、今回はこれにて失礼します。

こんにちは、らくだです。

次回からウェブ応募を開始する小学館の各賞ですが、このたび実際の投稿フォームが公開されたので、さっそく専用サイトをチェックしてみました。

以下リンクです。

一応アドレスを貼っておきますが、応募の際は念の為、募集要項から進んでください。

【投稿フォーム】

<https://manga.shogakukan.co.jp/apply/mangaform/index/grandprix/>

注意点はだいたいこんな感じでしょうか。

- ・ ガガガ、ルルル、ジュニア文庫で共通の投稿フォーム
- ・ あらすじはテキストを入力、本文はデータをドラッグ形式
- ・ アップ可能な拡張子はテキスト（txt）、ワード（doc,docx）のみ
- ・ ファイルの最大容量は 200MB で 1 つのみ、複数個アップした場合は上書きされる

最近はワードOKな賞が増えて、個人的にありがたい限りです。

しかしいざ応募しようとする、データ事故がどうしても気になって、結局テキストに変換しちゃう初心者ワナビ。

あの作業、地味に大変なんですよ……。

ルビが崩れて意味不明になったり、空白が消えたり、もう何度泣かされたことか……。

まあ応募者にとっては、ファイルの選択肢が増えたわけで、ありがたい話です。

自分も今まで敬遠していた docx 投稿を、これを機に検討してみようと思います。

以上、ガガガ・ルルル・ジュニア文庫の投稿フォームの話題でした。

ツイッターで他の投稿者様と交流したいけど、リプライを貰っても面白い返しができなくて申しわけないので、ひたすら沈黙を続ける系ワナビがこちらです。

ちなみにネットだけじゃなく、私生活もそういう姿勢なので、友達がほとんどいません！  
(突然のカミングアウト)

そんなわけで発言の少ない自分ですが、TLを眺めていると面白いですよね。

自分がフォローしているのは投稿者さんが大半ですが、何気ない発言から相手の個性が垣間見えると、なんとなく興味や親近感がわいてくるというか。

そこから「〇〇さんってどんな小説を書くんだろう」→「あ、公開してる！ 見てみようかな」という流れになって作品を読んだ経験も多数。

逆に100%宣伝しかしないアカウントは、流れてきても読み飛ばしてしまうので、自分の個性を発信するのは大事だと思います。

というわけで。

自分もいざ小説家になった時に備えて、親しみ溢れるブログ（自称）を書いているつもりですが、受賞するような気配は今のところゼロ。

もう、これね……。

いっそワナビブログは畳んじゃって、その労力を、投稿作に向けた方がいいんじゃない……。

なんてことを考えたりもしますが、ブログはブログで楽しいし大好きなので、これからも続けると思います。

以上なんだかよくわからない内容になりましたが、自分の個性を発信するのは作家志望者として大事だと思うので、ツイッターも徐々に使えるようになりたいです。

雑誌『Cobalt』刊行終了！

そして『Web マガジン Cobalt』誕生！

というわけで。

すでに各所で話題になっているようですが、雑誌コバルトのウェブ化が発表されました。

いやはや。

何の前置きもなかったのに、これは正直ビックリです。

【告知ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/info/>

雑誌は5月号（4月1日発売）で刊行終了。

もうすぐ3月号が出ますが、その次の号が最後というわけで、ずいぶん急な話です。

うーむ……。

時代の流れとはいえ寂しいですね……。

コバルトは通過発表等で長らくお世話になってきた雑誌ですし……。

ちなみにウェブ版は、詳しい時期は不明ですが、今春オープンだそう。

既存作家さんの作品が読めるのはもちろん、「新しい才能を開拓する投稿新企画も進行中！」と書いてあるので、投稿者としてはそこが一番気になります。

あと、アレですね。

短編の講評がネットで読めるのは、ウェブ化による大きな恩恵かなと。

そんなわけで紙媒体の終了は寂しいですが、その分ウェブならではの企画がたくさんありそうですし、今後も情報をチェックしていきたいです。

こんにちは、らくだです。

たびたび話題にしているカクヨムですが、作品登録数などの詳しい情報が、本日更新の公式ブログで公開されました。

さっそくチェックしましたが、非常に興味深い内容です。

【カクヨムブログ】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2016/01/29/193327>

会員数	10,137 人
作品数	7,531 本
公開済作品数	2,980 本
エピソード数	31,955 個
コンテストの規定分量を満たす作品	343 本

現段階の数字では、会員数およそ 10,000 人に対して、作品数が 7,500 本。  
単純に割り算すると、75 %の人達が作品をアップしているわけで、かなり多いですね。

中には一人で何作も掲載している例もあると思いますが、自分はひとまずIDだけ取って放置中なので、会員の皆様の素早さに今さらながらビビっております。

ただしコンテストの規定分量を満たす作品、つまり 10 万字を越えている作品は 343 本。

締切りはまだ先なので、これから当然増えるでしょうが、とりあえずそこは安心。  
ちゃんと参加できるように、自分もこれから頑張ります。

他にも登録作品のジャンル内訳など、面白い情報がたくさん載っているので、ご興味のある皆様は是非チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

定期的に話題にしているアイスクリスタルですが、公式サイトを見たところ、2月中旬にまた新規会員の募集があるようです。

すでに15-16シーズンも終盤ですが、まだ未入会の方は要チェックですね！

【告知ページ】

[https://www.icecrystalnet.com/news/160201\\_000379.html](https://www.icecrystalnet.com/news/160201_000379.html)

- ・ 募集人数      200 名
- ・ 受付期間      2 月 17 日（12：00）～18 日（17：00）
- ・ 申込方法      上記サイトよりエントリー、希望者多数の場合は抽選
- ・ 結果発表      3 月 1 日頃

ちなみに自分は、バンクーバー五輪で本格的にフィギュアスケートファンになって、それから募集がある度に申込みを続けているのですが、当選できた経験がまだ一度もないという……（汗）

どれだけ倍率高いんだ！

小説で受賞するのも難しいけど、体感的に、こっちも同じくらい厳しいわ！

しかも内容で評価される小説と違って、こちらは純粹に抽選式なので、落ちたら本当に悲しいんですよね。（いや、内容で落ちるのも悲しいですが）

とにかく、エントリー開始日は2月17日。

年に数度のチャンスなので、気合を入れて（?）、申し込もうと思います。



## 京の軌跡スタンプラリー（嵐山） - 2016.01.31 Sun

---

嵐電と映画村と刀剣乱舞のコラボイベント、「刀剣乱舞 京の軌跡スタンプラリー」に参加したので、その模様を数回にわけてご紹介します。

まず訪れたのは、スタンプラリーのチェックポイントでもある、嵐電の嵐山駅。

先週は四十年に一度の寒波でしたが、今週は天気もよく寒さも控えめで、気持ちのいいお出掛け日和です。



嵐山駅は一応駅ですが、入場券などは必要なく、自由に見て回れます。

写真の通り建物も大きくて立派ですし、売店やカフェや情報センターもあるので、散策中に立ち寄るのもいいですね。



構内の一角には、なんと足湯も。

京都は底冷えして寒いので、冬は特にありがたいです。

あれ……？

あの電車はひょっとして……？



刀剣乱舞のラッピングカー！

詳しい運行時間が不明なので、偶然出会えたらラッキーぐらいに思っていたんですが、まさかのいきなり遭遇です（汗）

というわけで、写真撮りまくり。



ラッピングカー目的の人々だけでなく、当然ながら、普通のお客さんもたくさんいました。

ヘッドマークもこの通り。

叡電もアニメコラボが盛んですし、京都はこの手の文化に寛容です。



思わず撮影に夢中になってしまいましたが、構内の一角には「RANDEN バル」があり、刀剣乱舞のコラボドリンクを販売しています。

下の写真の右側が入口。

この時はお昼時だったせいか、10 人くらい並んでいました。



うーん……。

平日は自由に入れるらしいですが、さすがに日曜日は厳しいですね……。

とりあえず看板を撮影。

商品内容は抹茶ビール、甘酒シナモン、グレープソーダ、いちごミルクです。



下の写真の方が見やすいかな？

時間の都合で今回は諦めましたが、抹茶ビールがどんな味が気になるので、バルには後日来たいと思います。



嵐山駅のスタンプは、このポスターのすぐ横、店の前にありました。

その向かいにはキャラクターのパネルが。

近くのカラフルな柱は京友禅をポールに収めたオブジェだそうです。



嵐山駅を出発して、この後は映画村へ。

移動中の車内もコラボ仕様。

よく見ると梅の枝が飾ってあって綺麗です。



紹介が遅れましたが、公式サイトはこちら。

【京の軌跡スタンプラリー】

<http://www.touken-kyonokiseki.com/>

今回は以上です。

次回は映画村の様子をお届けしたいと思います。